

病害虫発生注意報 第1号

富山県農林水産総合技術センター所長

斑点米カメムシ類の多発に注意！！

早生本田等における斑点米カメムシ類の生息数が多く、斑点米の多発が懸念されるため、早生の穂揃期及び傾穂期防除など、出穂期以降の本田防除の徹底が必要である。

◎ 病害虫名 斑点米カメムシ類

1 発生地域: 県下全域

2 発生程度: 多い

3 注意報発令の根拠

- (1) 水稲病害虫巡回調査地点における畦畔・雑草地のすくい取り(7月2日～4日)の結果、斑点米カメムシ類の確認地点率は 93.3%であり平年(66.0%)より高く、平均頭数は 7.98 頭と平年(4.65 頭)より多い。近年、特にアカスジカスミカメが急増している。
- (2) 水稲病害虫巡回調査地点における本田のすくい取り(7月2日～4日)では、斑点米カメムシ類の平均頭数は 0.75 頭であり平年(0.32 頭)より多い。
- (3) 向こう3ヶ月の気象予報では、7月の気温は平年並または高いと予想されており、水田への侵入や加害が多くなると予想される。

4 防除対策

- (1) カメムシの密度を低く抑えるため、早急に畦畔等の草刈りを実施する。
特に、イネ科雑草で穂が出ているものは刈り取りを徹底する。
- (2) 出穂期が早まると予想されることから、防除適期を逸しないように注意する。
- (3) 「てんたかく」等の早生品種は、穂揃期と傾穂期の2回の防除を確実に実施する。
また、「コシヒカリ」は、穂揃期の防除を徹底する。
- (4) 散布後も水田内に斑点米カメムシ類が認められる場合は、早生品種は3回目防除、「コシヒカリ」および晩生品種は傾穂期に追加防除を実施する。
- (5) 防除の際には、畦畔にも薬剤がかかるようにする。
- (6) 大麦跡遊休地隣接水田では、斑点米カメムシ類の発生が多くなるので防除を徹底する。

(7) アカスジカスミカメは水田内のヒエ、ホタルイなどの雑草を好むので、除草管理を徹底する。

(8) 畦畔雑草の穂が斑点米カメムシ類の繁殖場所となるので、穂が出ないように管理する。

※ 農薬散布にあたっては、事前に周辺住民等に対して、十分な周知に努め、周辺作物や住宅地等への飛散防止に努めるとともに、農薬の使用回数、使用時期等の基準を遵守する。

【参考資料】

◎ 斑点米カメムシ類生息密度調査結果

1 水稻病害虫定点調査: 畦畔・雑草地

(7月2日～4日、20回すくい取り調査)

調査 地点数	アカヒゲホソトトリ カスミカメ		アカスジカスミカメ		トゲシラホシカメムシ		合 計 (その他斑点米カメムシを含む)		
	確認	頭数	確認	頭数	確認	頭数	確認	頭数	
	地点率(%)		地点率(%)		地点率(%)		地点率(%)		
本年	45	60.0	3.42	60.0	4.11	13.3	0.22	93.3	7.98
前年	45	68.2	3.75	55.6	3.24	24.4	0.44	86.7	7.69
平年	74	51.4	2.66	15.3	1.21	17.5	0.32	66.0	4.65

※ 平年値は過去10年間の平均

※ その他の斑点米カメムシ類はアカヒメヘリカメムシが主体

2 水稻病害虫定点調査: 本田

(7月2日～4日、20回すくい取り調査)

調査 地点数	アカヒゲホソトトリ カスミカメ		アカスジカスミカメ		トゲシラホシカメムシ		合 計		
	確認	頭数	確認	頭数	確認	頭数	確認	頭数	
	地点率(%)		地点率(%)		地点率(%)		地点率(%)		
本年	45	15.6	0.24	11.1	0.44	4.4	0.07	26.7	0.75
前年	45	20.0	0.20	4.4	0.20	0	0	22.2	0.40
平年	74	17.7	0.28	0.4	0.02	1.0	0.02		0.32

※ 平年値は過去10年間の平均

問合せ先	農業研究所 病理昆虫課
TEL076-429-5249	FAX076-429-2701